

沖縄弧の島々に 次々と自衛隊配備



開設された陸自宮古島駐屯地

- ▼ 新たな自衛隊拠点を示す(2016年以降)
- 今までは自衛隊基地
- ▼ 建設中および計画中の米軍基地
- 今までは米軍基地



※ 陸地(島)の面積は、大きく表示しています。

ふたたび琉球弧が戦場に!

ウクライナの現実をどう受けとめるか?

講演 「南西諸島ミサイル要塞化」が 沖縄にもたらす危険と国民的無関心

講師 川端 俊一さん (元朝日新聞記者)

報告① 1959年宮森小ジェット機墜落事件について...牛島貞満

報告② 辺野古現地の闘い...水沢澄江

メッセージ:山城博治(ノーマ沖縄線 命どう宝の会)

ロシア軍による残酷なウクライナへの戦争の現実を目の当たりにして、核兵器を持っていれば攻められなかった、日本も軍事力をさらに強化しよう、と声高に言う人がいます。しかしウクライナの現実、人々のいのちを守るには戦争を絶対起こしてはならないことを示しています。琉球弧で進むミサイル要塞化はそこに住む人々をまきこむ戦争を想定しています。今なすべきは東アジアの軍事的緊張を緩和していくことです。63年前の宮森小米軍機墜落事件も、東アジアの対立が深まった時に起こったことも忘れてはなりません。

《沖縄のつどい2022》6月11日(土)

開演 14:00~17:00 (13:30開場・Zoom開始)

会場: 明治学院大学白金キャンパス本館3階 1301教室

ZOOMでの参加もできます。(コロナ感染状況によってはZOOMのみ実施)

資料代: 会場・ZOOM参加 共に500円 (学生・明治学院大関係者無料) 申し込み方法は裏面に記載

会場定員
150名

主催 沖縄のつどい実行委員会 (宮森-630を伝える会、ジュゴン保護キャンペーンセンター、公益財団法人原爆の図丸木美術館、ピース・ニュース、平和を実現するキリスト者ネット)
共催 明治学院大学国際平和研究所 賛同 公益財団法人東京YWCA、沖縄戦首都圏の会、沖縄平和ネットワーク首都圏の会